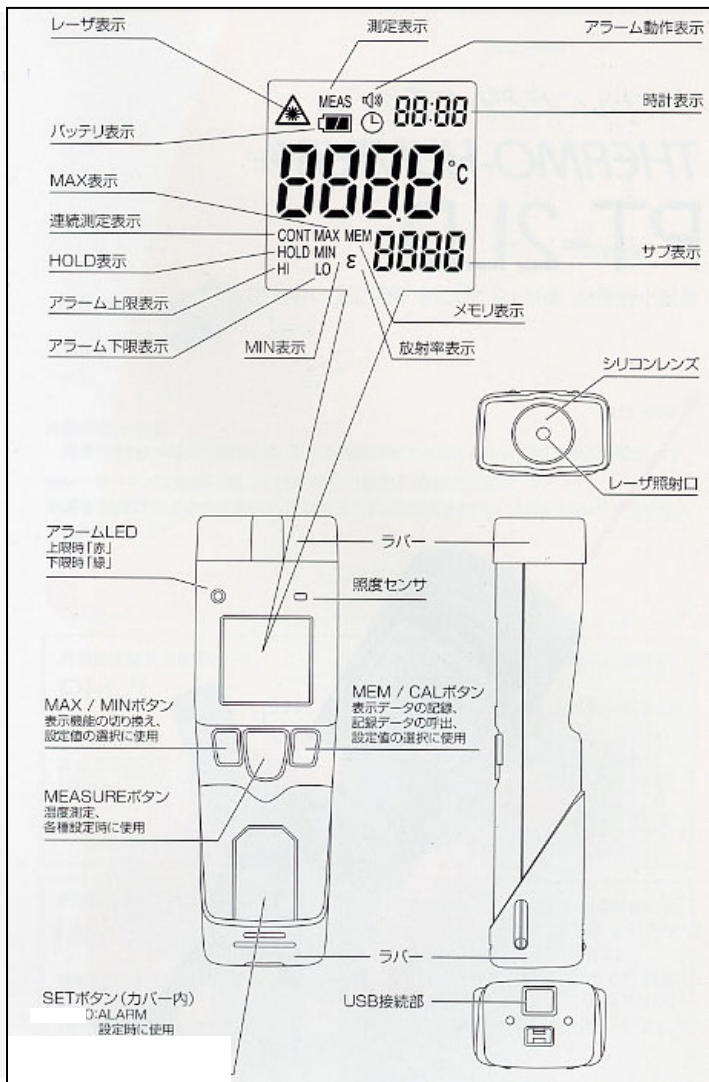


EA701XH-7A [-300~600°C]非接触温度計

測定温度範囲	-30~600°C
測定視野範囲	□30mm/1000mm (D:S=33:1)
光学系	Siレンズ
検出素子	サーモパイル
測定波長	8~14μm
応答時間	0.5sec./90%
測定精度(ε≒0.95)	-30.0~0°C:±3°C、0.1°C~200°C:±2°C、201°C~600°C:±1%
再現性	読取値±1°C
表示分解能	-30.0~199.9°C:0.1°C、200~600°C:1°C
照準	視野同軸レーザーマーカー(クラス2) PSc認証取得
HOLD時間	15秒
連続測定切換	-
USB出力	-
データ記録	1点メモリ
バックライト	照度センサ付ELバックライト
上下限温度アラーム	アラームLED・ブザー音 ON/OFF切換
放射率(ε)補正	0.95/0.85/0.70切換
表示機能	NOR/MAX/MIN
電源	単三アルカリ乾電池×2本
電池寿命	連続15時間(最大負荷時)
使用周囲温度	0~50°C
使用周囲湿度	35~85%RH(結露なきこと)
保存温度/湿度	-10~60°C/35~85%RH
材料	ABS/TEEE
外形寸法	H×W×D=182×56×38mm
質量	約250g(電池含む)

付属品:単三アルカリ乾電池×2本(動作確認用)、取扱説明書、専用収納ケース、

オプション:黒体テープ



■測定が困難な事例

- ・光沢のある金属など測定面が鏡面に近いものを測る場合。
- ・ガラス越しに測る場合。

■正しくお使いください

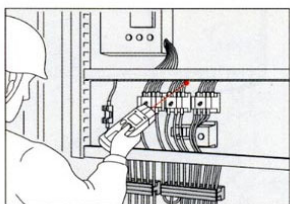
- ・ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読み下さい。
- ・本器は、体温計ではありません。医療行為には使用できません。
- ・本器は、防水されていません。水のかかる場所や水中で使用しないで下さい。
- ・急激な周囲温度変化は、測定値に誤差を生じます。急激な温度変化を受けないようにお使い下さい。
- ・強力な電磁波を発生する物の近くでのご使用は避けて下さい。

■レーザー光について

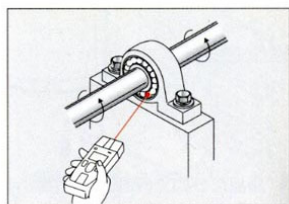
- ・本器はJIS C 6802に準拠したクラス2レーザーを使用しています。
- ・本器に貼付された警告表示ラベルの内容に従ってお使い下さい。
- ・本器はJQA(日本品質保証機構)認定のレーザーマーカー付携帯製品です。

■輸出について

- ・レーザー警告表示について 輸出先国の法律・準拠規格によって、製品の仕様及び警告表示ラベルが若干異なる場合がありますので、あらかじめご確認下さい。



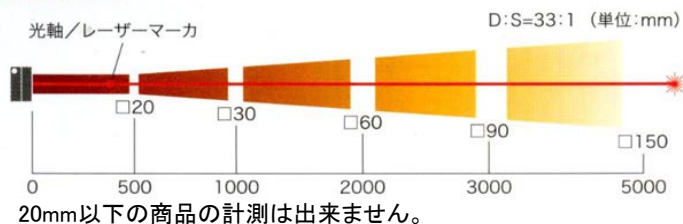
配電盤の異常発熱チェック



軸受部の異常発熱チェック

測定エリアは、1m離れたところで、30×30mm。5m離れたところでも、150×150mmのロングフォーカス設計です。危険で近づけない場所でも安全・確実に測定が可能です。

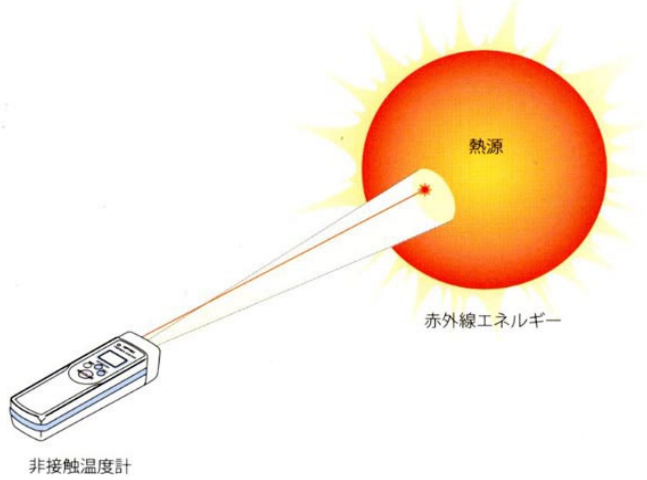
POINT 離れた測れるロングフォーカス設計



20mm以下の商品の計測は出来ません。

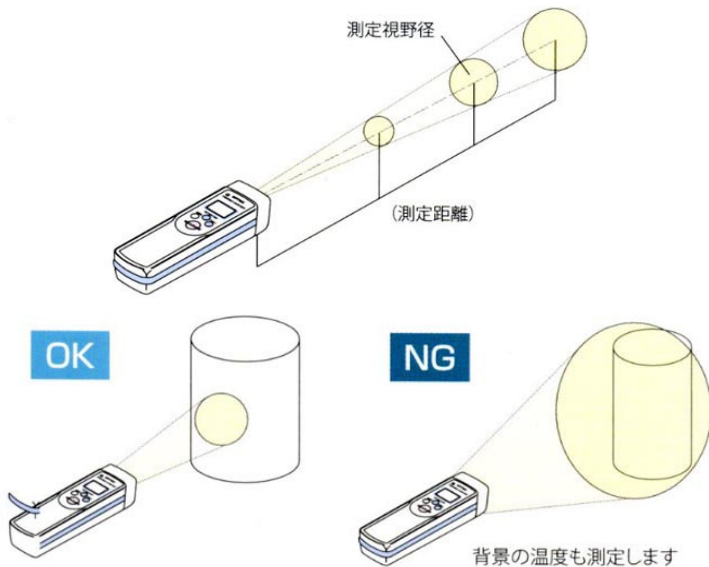
Q1 「非接触温度計とは？」

身の周りの物体には表面から赤外線を出しています(放射量は物体の熱量に比例)。非接触温度計は、物体に触れずに赤外線を受光し、赤外線放射量を温度に換算して計測しています。



Q2 「測定視野と測定距離の関係は？」

非接触温度計は、物体表面の面積の平均温度を測定します。この面積を測定視野といいます。測定視野は、温度計から測定対象物までの測定距離によって変化します。また測定視野と測定距離の関係は、各製品によって異なります。正しく測定するためには、測定したい箇所の面積が、測定視野を十分に満たすことをご確認ください。

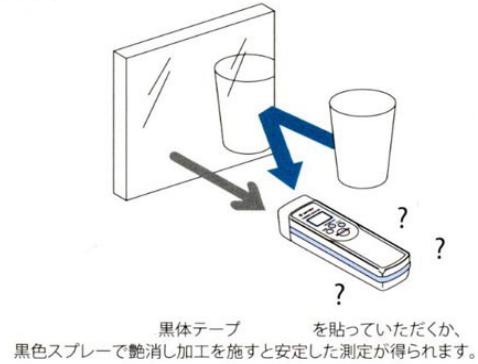


Q3 「どこまで離れて測れる？」

Q2のように、測定距離が遠くなるほど測定視野が広がります。原理上では無限に測定することは可能ですが、測定対象物が測定視野より大きい場合に限られます。

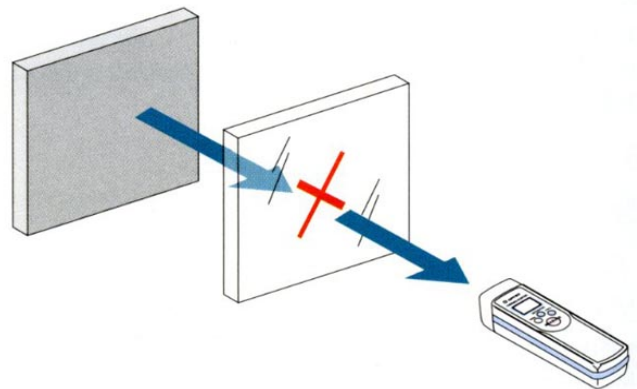
Q4 「非接触温度計は何でも測れる？」

非接触温度計は、固体・液体の表面温度を測定します。(気体や炎及び固体・液体の内部は不可)下記の条件は、測定が困難です。
[表面に光沢のある金属]
表面に光沢のある金属は、赤外線の放射量が少なく、一方で周囲の熱源の赤外線を反射する性質があるため、安定した測定が困難です。



[ガラス越しの測定]

ガラスは可視光は透過しますが、赤外線は透過が困難です。そのため、ガラス越しの測定はできません。ガラスの表面温度を測定することになります。



Q6 「粉塵の影響を受ける？」

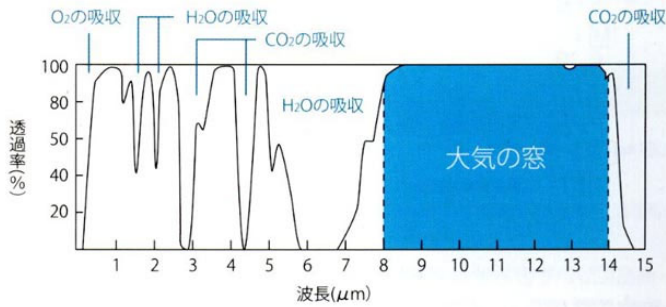
大気中に浮遊している目視できない程の埃には、ほとんど影響を受けませんが、粉塵で測定対象物が目視ができない程の影響下では、ご注意ください。また、温度計のレンズ(フィルタ)面に埃が付着すると測定に影響をおよぼすので、ポータブル製品はレンズの清掃を、措置型製品はエアパーージ管をご利用下さい。

Q5 「検出波長とは？」

あらゆる物体は、温度や素材によって異なる波長の赤外線を放出しています。そのため、赤外線を検出する非接触温度計は、測定に適した検出波長を選択しなければなりません。更に、大気中には赤外線を吸収してしまう水蒸気(H₂O)や炭酸ガス(CO₂)が存在し、これらの影響を受けにくい検出波長を合わせて選ぶ必要があります。当商品は

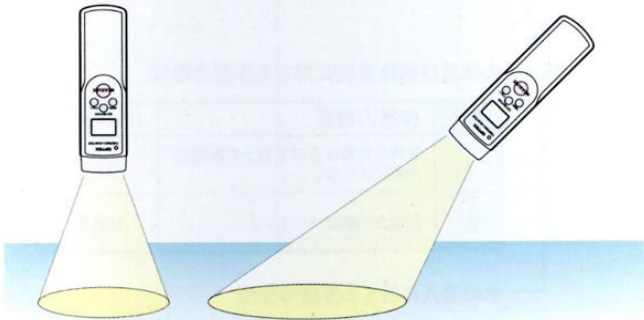
測定に適した長い波長帯の中で、水蒸気や二酸化炭素の影響が少ない「大気の窓」といわれる8~14 μ mの波長を検出しています。

[大気の窓]



Q8 「斜めからの測定は可能？」

測定対象物の面に対して垂直に測定した場合は、測定視野は円(または正方形)の面積を測定します。斜めから測定すると、測定視野は下記のように楕円(もしくはひし形)になります。この場合でも測定対象物の大きさが、測定視野を満たしていれば測定は可能です。(Q2参照)入射角45°以上の場合にはご注意ください。



Q11 「色に影響される？」

非接触温度計は、測定対象物の表面状態(光沢の有無)に影響を受けますが、色による影響は原理的にはありません。ただし、塗料の材質によって(光沢がある場合)は影響が出る場合もあります。(例:メタリック塗装など)

Q14 「体温は測れる？」

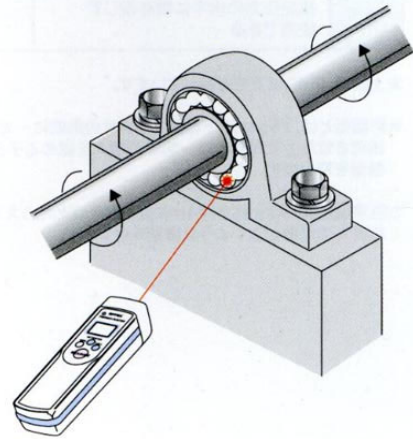
体温計ではありませんので、医療行為にはお使いいただけません。

Q7 「水蒸気の影響を受ける？」

Q6同様、水蒸気の測定対象物が目視できない程の環境下では、ご注意ください。

Q9 「回転物は測れる？」

非接触温度計は、物体に触らないので、回転ぶつの測定も可能です。ただし、表面温度は応答時間内に回転した面の平均値となります。



Q10 「表面が凹凸でも測れる？」

非接触温度計は、接触式と異なり、「点」ではなく、「面」で測定しますので測定視野内に凹凸があっても、全て平均化して測定できます。

Q12 「暗所での測定は可能？」

非接触温度計は、可視光ではなく赤外線を検知していますので、暗所でも測定可能です。

Q13 「レーザー光は危険？」

レーザーを直接のぞき込んだり、人の目に当てないでください。目に傷害を与えたり、健康を害する恐れがあります。

